

明 説  
 秀就公家督  
 韓客と唱酬す  
 五常の解  
 伏原宣幸  
 貝原益軒  
 伊藤坦庵の復軒説  
 雲谷家  
 原欽元日の詩  
 萩城に入る  
 兩國陪巡  
 萩八景の詩  
 奥平正英  
 香川鄰善に書を寄す

同  
 天和二  
 同  
 同  
 天和三  
 同  
 同  
 貞享元  
 同  
 同  
 貞享二  
 貞享三  
 貞享四

小川某に書を與へて士道を言ふ  
 陰徳の説  
 僧慧極始て瑞聖寺主となる  
 吉就始て慧極を見る  
 山縣周南生る  
 大寧寺に陪遊す  
 賀屋玄張を勉めしむる書  
 綱廣公逝去  
 生雲亭記  
 男を擧ぐ 妻を娶りし年詳ならず  
 吉就公信佛の事情  
 東光寺建立  
 幕府の新聖廟成る  
 女を擧ぐ

同  
 貞享四  
 同  
 同  
 同  
 同  
 同  
 元祿元  
 同  
 元祿二  
 同  
 同  
 元祿三  
 元祿四  
 同  
 同

書中要件目録

- 慧極東光寺主となる
- 原欽暴死し麻布教運寺に葬る
- 原欽の子頼國祿を給せらる 時日不詳
- 吉就公逝去
- 慧極東光寺を退く
- 小倉尙齋原欽行狀を撰ぶ
- 慧極寂す
- 原欽師の業を助く 以下卷末
- 原欽秘庫の書を校す
- 原欽の教化
- 原欽の記性
- 原欽の妻子及び裔孫 山田頼毅

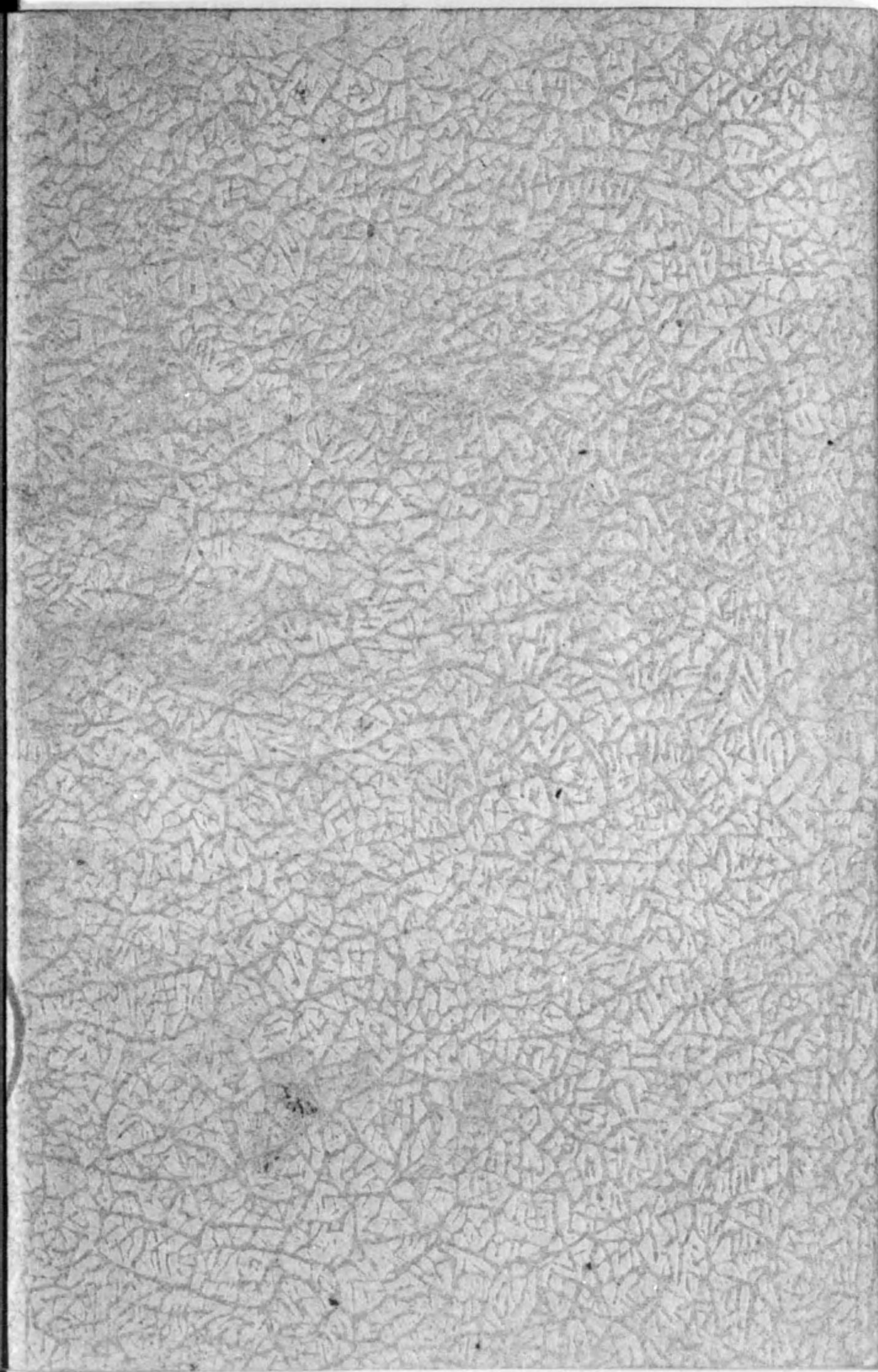
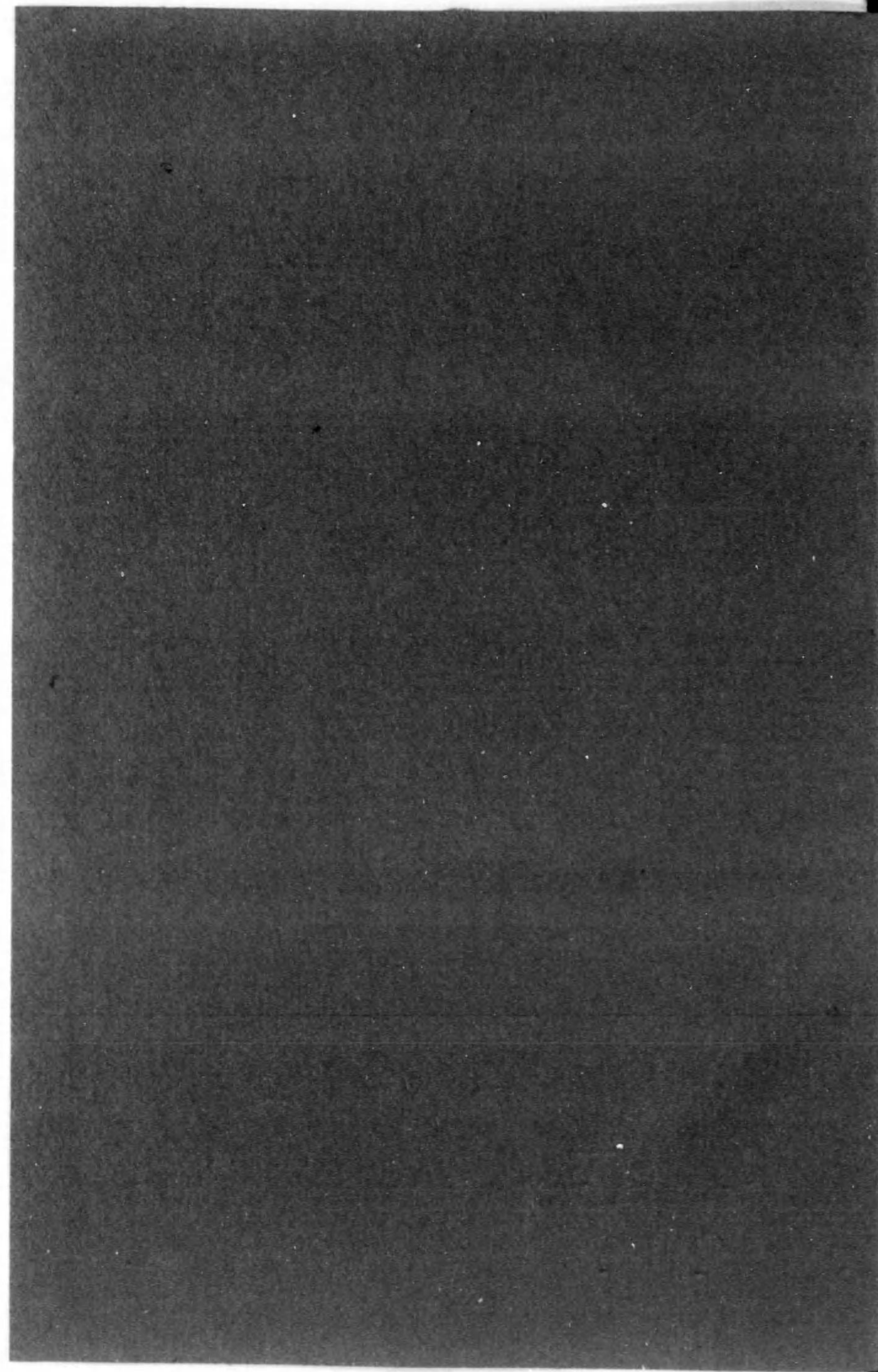
元祿五  
元祿六  
元祿七  
元祿九  
元祿十三  
享保六年

昭和十五年十月五日印刷  
昭和十五年十月十五日發行  
山田原欽  
(非賣品)

著者 故安藤紀一  
發行所 東京市皆三野原町一丁目  
中藤芳彦  
印刷所 山口市新橋十番地  
品川幸一  
印刷所 山口市新橋十番地  
大内印刷所

發行所 明倫同窓會  
事務所 萩市明倫小學校内

912
51



912  
51

終